

なかこくだより



学校教育
目標

未来に夢を抱き、希望に向かって力強く学ぶ児童の育成を目指し、
やさしさ、かしこさ、たくましさを磨く

学校だより 第4号

令和3年7月12日

市川市立中国分小学校

校長 菊池 和彦

あいさつ名人がいっぱい！

中国分小の合言葉は、「あいさつ・あたたかいことば・あかるいえがお」です。どれもとても大切なことですが、今年度は、特に「あいさつ」に力を入れていきたいと考えています。あいさつは、人の心と心をつなぐ合言葉です。また、コミュニケーションの第一歩だと思います。

6月の放送朝会で、今年度の目標は、中国分小をあいさついっぱい为学校にすること。でも、一人ではこの目標は達成できないので、あいさつが上手な「あいさつ名人」を増やしていきたいという話をしました。次の日から、「あいさつ名人」がとも増えました。そして、7月になっても、「あいさつ名人」は増え続けています。もう少しで、夏休みを迎えますが、学校だけでなく、家庭や地域でも、気持ちのよいあいさつができるといいと思います。引き続き、ご家庭での声掛けをお願いいたします。



教育実習生との4週間

6/1(火)から28(月)までの4週間、教育実習生を3名受け入れました。3名とも、中国分小学校出身で、子どもたちの先輩になります。1-2、2-3、3-1の3クラスを中心に実習を行いました。子どもたちも、実習生とすぐに打ち解け、楽しそうに学習したり遊んだりしている様子が見られました。

また、教育実習のまとめとなる精錬授業では、1-2は国語「けむりのきしゃ」、2-3は算数「100をこえる数」、3-1は理科「ゴムや風の力」の学習を行いました。教育実習生も、初めは緊張した様子でしたが、意欲的に取り組む子どもたちにも助けられ、和やかな雰囲気の中で授業を行うことができました。最終日は、涙の別れになったクラスもありました。実習生は、この4週間の教育実習で学んだことを生かして、これから頑張ってもらいたいと思います。



プール清掃 ～ご協力ありがとうございました～



昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、水泳の実技学習は、市川市全体で中止となりました。しかし、プールの維持管理の面から、プール清掃が必要なため、保護者の方々のお力をお借りして、7/12(月)にプール清掃を行いました。当日は、約40名の方々にご協力いただき、プールがとてもきれいになりました。本当にありがとうございました。はやくコロナウイルスが

収束し、来年こそは、水泳学習が実施されることを願うばかりです。

外部講師の方々とのかかわり

今年度に入り、さまざまな場面で外部講師の方々をお招きして、各学年の学習が展開されています。一例を挙げますと、1年生はキャベツおばさんの読み聞かせ、2年生は人権教室、3年生は交通安全教室、4年生は星座授業、6年生は歴史学習などです。ちなみに、5年生は、秋にお米マイスターの方をお招きする予定です。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、地域人材等を活用した学習はほとんどできませんでした。今年度は、安全面に配慮しながら、様々な方法を模索して、地域の方々にご協力いただこうと考えています。

なお、第一中学校ブロック(市川小・国府台小・中国分小・第一中)の地域学校協働本部「Firstnik☆心あ～すといく☆」の活動が、昨年度文部科学大臣表彰を受けました。

今後も、学校と地域とのつながりを大切に、子どもたちを育てる活動に取り組んでまいります。



【お知らせ(千葉県教育庁教育振興部より)】

ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト(千葉ロッテマリーンズ公式戦観戦)の実施について

※右の「申込み用 二次元バーコード」より、ご確認ください。

